



社長賞が11/1～12/31まで開催中です。全員でGET出来るよう頑張らしましょう！！

## 早朝の路面凍結によるスリップ事故に注意

この間まで、西日本を中心に最高気温が30度を超える日があったりしましたが、最近では一転急激に気温が下がって北海道などでは初雪の便りが聞かれるようになってきました。それに伴って多発しているのが、凍った路面でスリップする事故です。10月22日午前7時前、札幌市厚別区の跨線橋を走行していた軽自動車が増車線変更をしようとした際、スリップして計4台が絡む事故がありました。軽自動車は、夏タイヤを装着したままでした。22日朝の札幌の気温は3.2度と今シーズン最低で、跨線橋の上の路面はブラックアイスバーンになっており、事故にあったドライバーは「普通に走っていたら橋の頂上にきていきなり滑ってスピンした」などと話しています。気温の高い日が続いていると、しばらく雪が降ったりすることはないだろうと安易に考えがちですが、最近の気象は極端に変化することが多く、一瞬で季節が入れ変わってしまうことが少なくありません。これからは、夏タイヤのままで走行していると、突然気温が下がって路面が凍っていてスリップすることがあります。早めにスタッドレスタイヤに履き替えるようにし、早朝に高架橋などを走行するときは、スピードを落として慎重に運転してください。

－ 秋の健康診断（ドライバー、倉庫、点呼者）、インフルエンザワクチン接種希望者について －

**健康診断は10/25～12/4まで**に必ず受診するようお願いいたします。期間中に受診しない場合、**自費にて受診**になります。なおインフルエンザワクチンは、コロナワクチン接種をしてから一ヶ月後に接種出来ます。2回目の接種日を確認し接種するようお願いいたします。インフルエンザワクチン接種の最終日は12/11。（コロナワクチン接種の関係で延長希望の方は福島まで）

## 同乗者の寝ている姿勢に配慮しよう

**ド**ライブ中に助手席や後部座席の同乗者が寝入ってしまったとき、少しぐらい姿勢が悪くても「起こすのは気の毒」と考えて、そのままにしていることはないでしょうか。しかし姿勢が悪いと事故や衝突時に同乗者が大きな被害を受ける可能性があります。自分は安全運転をしていると思っても、対向車線の車などがミスをして衝突事故に巻き込まれることがないとは言えませんので、車の中で寝ているときの防御措置が重要



です。例えば車の中で寝るときにシートベルトから身体がずれたり、ベルト自体を外して寝てしまう人がいます。ベルト非着用は違反であるだけでなく衝突時に車外放出事故などに結びつき、死亡・重傷の確率が非常に高まります。また、座席を深く倒して寝ると、衝突時に身体がシートベルトをすり抜けて車内で二次衝突などを起こすやすくなります。このほか同乗者が窓に寄りかかって眠ると、車が横転したとき地面に頭を叩き付けられ、重傷や死亡事故に結びつく危険があります。ドア上部からサイドエアバッグが展開する車の場合、上半身が守られると思われがちですが、窓に寄りかかっているとエアバッグ作動の邪魔をしたり、上半身に怪我をする危険もあります。助手席や後部座席で危険な寝方をしている人がいたら、安全な場所に車を止めて同乗者の姿勢を直し、シートベルトの正しい着用を確認するようにしましょう。